

吉谷 武志

YOSHITANI, Takeshi



[共同研究]

- 「多文化住民散在地域における学習・生活支援体制の構築に関する研究（研究プロジェクト）」を実施した。
- 東京都立小山台高校定時制課程との連携で「アンネ・フランク～時空を超えて～」の共同授業（総合学習）に取り組んだ。

[科研費等の研究]

- 「多様性を尊重する異文化間教育を担う教員の養成－欧州審議会とNGOの共同研究から－」（基盤研究(C)平成27年～平成30年）の最終年度の研究に取り組んだ。
- 「排他的国民教育から包摂的の市民教育への質的、制度的転換の模索－欧州審議会の教育支援」（基盤研究(C)平成30年～平成32年）の第1年度の研究に取り組んだ。

[研究業績]

1.論文

- 吉谷武志 (2015) 「LGBT(Q)－セクシュアル・マイノリティと教育、学校」『人文会ニュース』第127号、人文会、1～18頁。
- 吉谷武志（伊藤亜希子との共著）(2015) 「人権教育におけるアンネ・フランク巡回展の活用－日本における可能性と課題－」『国際教育評論』第12号、東京学芸大学国際教育センター、35～47頁。
- 吉谷武志 (2015) 「国際理解に関する学習－社会科における新しい課題－」『教師用指導書 小学社会 総論』日本文教出版社、174

2.報告書

- 吉谷武志 (2015) 「ヨーロッパにおける教員の異文化間トレーニング－欧州審議会による取り組みから－」（基盤研究(C) 報告 CD版）

3.学会発表

- 吉谷武志 「多文化社会における市民性教育支援人材養成の試み－Council of EuropeのPestalozzi Programmeについて－」（日本比較教育学会、第54回大会、広島大学、2018年6月23日）
- 吉谷武志 「日本の公立学校におけるムスリム児童生徒の受け入れの現状と課題－日欧比較研究に向けた予備的考察－」（異文化間教育学会、第37回大会、桜美林大学、2016年6月5日）
- T. YOSHITANI & A. ITO, "Education for multicultural children in Japan: A Case Study of Muslim Children & School.", in International Association for Intercultural Education: Budapest Conference, Hungary, 3-9, September 2016)

4.その他

- 吉谷武志 「不透明な時代の社会を見直すには－自分の目でしっかり見ること－」『福祉研協会報』No.59-1, 13頁、福岡県社会科学研究協議会（2018年11月）
- 吉谷武志 「現実を直視し、課題を立て、わかり合えないことを前提する対話型コミュニケーションが必要とされること」『福祉研協会報』No.59-2, 13頁、福岡県社会科学研究協議会（2019年1月）

[海外調査]

- 2018年9月 Network European Citizenship Education の国際会議 "Brave New Worlds?! The Future of Democracy and Citizenship Education"（マルセイユ）に参加し、あわせてCouncil of Europe（欧州審議会、ス

トラスブル）を訪問し、異文化間教育・教員研修プログラムに関する調査を行った。

- 2018年10月～11月 欧州における教育についてプレーメン大学、ドイツ連邦政治教育センター（ボン）、NGO Arbeit und Leben（デュッセルドルフ）を訪問し、調査および情報収集を行った。

[講演会・研修会への参加]

- 島根県教育委員会主催外国人児童生徒教育指導者研修にて「日本語指導が必要な子どもの教育1,2」と題して講演を行った（2018年5月31日・島根県合同庁舎・出雲市）
- 立川市平成30年度・多文化共生理解講座で「みんなで学ぼう！外国につながる子どもの理解と支援」と題して講演した（立川市幸学習館2018年7月21日）。
- 栃木県立大田原高校で人権教育（第2学年）について「マイノリティと人権－多様化する社会から考える」と題して講演した（2018年9月20日）。
- 世田谷区立男女共同参画センターらぶらすによる「セクシュアル・マイノリティ支援者養成講座《基礎編》第2期」で「アライとしての心構え セクシュアル・マイノリティの良さ理解者・支援者になるために必要なことを学ぶ」と題して講演した（2019年1月27日）
- 福岡市国際交流協会による「平成30年度日本語ボランティア養成講座」において「日本語ボランティアの果たす役割」と題して講演した（アクロス福岡2019年2月24日）。

[社会的活動]

- 福岡県社会科学研究協議会会長（2017年4月～）
- 『新版日文 小学校社会』（平成27年版 日本文教出版）共同著者
- （財）博報児童教育振興会「博報賞」審査委員（2009年4月～2019年3月）
- NPO法人「ともに生きる街ふくおかの会」理事長

[学内の活動]

- 国際教育センター主催の「学校のセクシュアル・マイノリティ教育・支援研修－だれもがのりまのりまのりまのりまのりまのためー」で「学校におけるセクシュアル・マイノリティの現状と課題」と題して講演した（2018年7月14日）。
- 国際教育センターと男女共同参画室の共催で「TGU Rainbow Week－東京学芸大学で主にLGBTQについて考える1週間－」（2017年7月3日～8日）を開催した。
- 国際教育センターと広島市教育委員会、綾瀬市教育委員会との共催で、それぞれ「サテライトセミナー」を企画し、「JSL 児童生徒の現状と受け入れ体制づくり」等の講義を行った。（2017年8月1日広島市、8月7日綾瀬市）

[主な学会活動]

- 異文化間教育学会 理事（2017年6月～2019年5月）
- 日本比較教育学会
- 日本国際理解教育学会
- International Association for Intercultural Education

[教育活動]

- 教育学研究科（教職大学院）で「現代教育ニーズへの対応A」を担当した。